

2008年重点活動の評価と2009年の目標

2008年の重点活動目標	活動実績	評価
1. CSR やグループ企業行動憲章に関する理解 ・ CSR に関する社内教育の充実を図ります。	・ 三菱製紙グループの全役員・ライン管理職を対象に外部講師によるコンプライアンス教育を実施した。	：計画通りの教育を実施できた。
2. 適切な情報の発信 ・ 情報開示の考え方を整理し、方針や内規を作成します。	・ 「外部情報開示規定」、「広報連絡会ガイドライン」を作成した。	：目標通り情報開示の考え方を示した。
3. 雇用に関する取り組みの充実 ・ メンタルヘルスクア対策に取り組みます。	・ 三菱製紙全社にメンタルヘルスクア支援プログラムを導入した。 本社では「心の健康診断」を実施した。	：メンタルヘルスクア対策に着手した。
4. 環境負荷と環境リスク低減 ・ LCA（ライフサイクルアセスメント）手法によるCO ₂ 排出量算定を進めます。	・ カーボンフットプリント制度指針案等を参考に仕組みづくりを行った。カーボンフットプリント制度試行事業に歩調を合わせるため、運用には至っていない。	：実際の運用には至っていない。
5. 社会貢献活動の支援 ・ 対象を関連会社にも広げ、また地道な活動にも光を当てます。 ・ 地域に根ざした活動を充実させます。	・ 関連会社で説明会を開催し、来期以降、歩調を合わせた取り組みが出来るようにした。 ・ 年間活動計画に沿って各部門での展開が進んだ。	：具体的な展開には至っていない。 ：計画通り展開が進んだ。

（評価）：目標達成 ； 実施不十分

2009年の重点活動目標	アクションプラン	具体的な活動例
1. 特徴ある CSR 活動の推進	・ 環境貢献施策の具体化 - エコシステムアカデミー - 間伐促進 - FSC の拡大	・ 社員教育への展開 ・ 「森の町内会」活動の拡大を支援 ・ 国内社有林での FSC 認証取得
2. 企業倫理、企業行動規範に関する理解の促進	・ コンプライアンス教育及び浸透度調査の実施 ・ 法令教育の実施	・ グループ全役員・社員を対象にした教育 ・ 浸透度調査を踏まえた教育内容の点検 ・ 企業活動に関係する法令教育
3. 人権・労働に関する取り組み体制の検討	・ 統括的な委員会組織の検討	・ 活動内容、活動範囲、具体的目標の検討 ・ 人権・労働に関する現状の点検
4. 地球温暖化防止への対応	・ 社内規則の見直し、法令改正の確認・対応 ・ 組織的な取り組み体制構築 ・ 具体的な対応策の検討	・ 環境憲章の見直し ・ 検討チームの発足 ・ CO ₂ 削減手段の整理 ・ カーボンフットプリントへの対応

* 2008年度未達であった社会貢献活動の関連会社への展開については、2009年度も引き続き取り組みます。